

みんなで踏み出す世界への一步 文学科英米文学専攻は全員留学！

グローバル社会を生き抜くための確かな英語力教養を身に付けるべく、2026年度入学者より、英米文学専攻の学生全員を対象にした留学制度が始まりました。大学の国際交流センターと連携して、準備からしっかりサポートします。留学期間は数週間の短期から1年間の長期まで選ぶことができ、自分の興味や学びの目的に合わせて行き先を選択します。



事前学習・手続き

正課の授業内で
留学に必要な学びや手続きが
一緒にできるから安心



費用

授業料充当制度で
本学の授業料を留学費用に
充てることができます

1ヶ月 授業料1/12 (10万円)
6ヶ月 授業料半分 (59万円)
1年 授業料1年分 (118万円)
(令和8年度授業料に基づく)



単位認定

帰国後のレポート提出と
留学体験発表を必須条件として
本学の単位として認定
(その他にも認定される授業が
あれば認定単位を得られる)



手厚いサポートで初海外も安心

国際交流センターで留学支援

海外留学や国際交流活動の窓口として国際交流センターを設けています。海外提携校の拡大や研修プログラムの拡充など学生の留学・語学研修のサポートはもちろん、研修生の受け入れやボランティア活動など、国際交流の機会を提供できるよう取り組んでいます。

■イングリッシュ・ラボで語学力UP

国際交流センターでは留学に必要な英語学習についての相談を随時受付中！英語の勉強方法を聞いたり、わからないところを質問したり、英語が苦手だと諦めず、相談して留学を実現した学生が何人もいます。

私たちがサポートします

〈スタッフ〉奥村さん

金沢学院大学文学部国際文化学科卒。在学中にカナダ・バンクーバーの語学学校に半年留学。教員免許(中高英語)取得、日本語教員養成課程修了。卒業後、ホテルにて約5年間の勤務経験を経て、現職。TOEIC975を取得した経験を生かしたTOEIC指導も可能。



〈スタッフ〉小暮助教(経済学部)

早稲田大学を卒業後、英国ヨーク大学大学院にて修士号を取得。イギリスとフランスでの在任経験を生かし、異文化理解と語学教育に携わる。海外大学入学のためのIELTS指導も可能。一人一人の挑戦を丁寧に支え、保護者の皆さまにも安心していただけるよう努めています。

スケジュールの目安

	留学期間												帰国後		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
短期留学	夏季及び 春季休業 (2週間～1ヵ月間)	募集 開始 (夏)	申込 締切	準備	出発 帰国	募集 開始 (春)	申込 締切	準備	出発 帰国	募集 開始 (夏)	申込 締切	準備	出発 帰国	募集 開始 (春)	申込 締切
協定校 留学	留学期間 春出発 (半年・1年)	募集 開始	申込 締切	面接	選考 決定	準備	出発 帰国	募集 開始	申込 締切	面接	選考 決定	準備	出発 帰国	募集 開始	申込 締切
	秋出発 (半年)	募集 開始	申込 締切	面接	選考 決定	準備	出発 帰国	募集 開始	申込 締切	面接	選考 決定	準備	出発 帰国	募集 開始	申込 締切
英米文学 専攻	オリエン テーション	希望・ 適正確認、 面談	留学先希望決定 必要者は語学試験準備	出願手続き (パスポート取得、各種証明書発行など)	受入先からの承認 渡航準備	直前 ガイダンス	短期留学(2～3月) 長期留学(3月以降) 帰国後 留学体験発表	短期留学(2～3月) 長期留学(3月以降) 帰国後 留学体験発表	短期留学(2～3月) 長期留学(3月以降) 帰国後 留学体験発表	短期留学(2～3月) 長期留学(3月以降) 帰国後 留学体験発表	短期留学(2～3月) 長期留学(3月以降) 帰国後 留学体験発表	短期留学(2～3月) 長期留学(3月以降) 帰国後 留学体験発表	短期留学(2～3月) 長期留学(3月以降) 帰国後 留学体験発表	短期留学(2～3月) 長期留学(3月以降) 帰国後 留学体験発表	短期留学(2～3月) 長期留学(3月以降) 帰国後 留学体験発表

Q
A

よくある質問

Q 興味はあるんですが英語が苦手で…

A 英語に苦手意識を持ちながら挑戦した先輩も多数います！語学力に合わせて留学先やコースを選択するので、初級でも大丈夫。渡航前は国際交流センターが、現地では留学先スタッフが学習サポートを行います。また、英米文学専攻なら英語に関連する授業を積極的に履修しましょう。

Q 留学先での滞在形式(寮、ホームステイなど)は選べますか？

A 選べる場合と選べない場合がありますので、希望がある場合は留学先決定前に教員に希望を伝えてください。

Q どのくらい費用がかかるか知りたいです。

A 費用は、行先や期間によって異なりますが、目安として短期で50～100万円、長期で200～600万円程度かかります(2026年7月現在)。留学費用は基本的に全額が学生の自己負担となります。奨学金制度や英米文学専攻には充当制度がありますので、確認ください。

[主な費用] ・授業料、滞在費 ・パスポート(オンライン申請8,900円)、ビザ、渡航認証取得
・航空券、保険(15日:8,430円) ・食費、交通費、娯楽費

Q 長期留学しても、4年間で卒業することはできますか？

A 留学期間は本学の在籍期間と見なされるため、卒業単位を揃えることができれば4年間で卒業することができます。ただ、教職課程を履修しているなど資格取得を目指している場合は、事前に相談してください。

Q 英米文学専攻の場合、留学に行かないと卒業できませんか？

A 本学英米文学専攻では原則全員が留学します。渡航が難しい場合はオンライン留学も可能です。万が一、留学に行けなくても卒業はできます。

Q 部活動と留学を両立することはできますか？

A 部活動所属の学生も留学しています。顧問や学部の担当教員と相談しながら、希望に応じて競技などに生かせる留学先や適切な期間を決めます。中には留学先で社会人チームに所属した学生や、部活動に参加した学生もいます。

Q アレルギーがあります。食事制限などの対応は可能ですか？

A ホームステイでは申込の段階でアレルギーの情報を伝えることで追加料金で食事の対応を依頼することができます。寮の場合は自己管理となります。



金沢学院大学 国際交流センター
iec@kanazawa-gu.ac.jp



金沢学院大学・金沢学院短期大学

海外留学ガイド2027

その一歩が 大きな成長へ





6タイプの紹介

英語学習

民間語学学校にて基礎から英語4技能を伸ばし、効果的に英語力を向上させます。

【留学例】Kaplan International Languages
General Englishコース(2週間～)

80年以上の歴史があり、8カ国23校にある語学学校。このコースでは語学力に合わせた授業を1日3時間受講し、授業以外のアクティビティも豊富。さらに勉強したい場合はIntensive Englishコースもおすすめ。

専門知識

本学の専攻とは異なる専門知識を学びます。ビジネス分野・ホスピタリティ分野・英語教育分野などへの就職を見据えた専攻も可能です。

【留学例】BROWNS English Language School
バリスタコース(5週間)

エスプレッソの抽出、ラテアートなどのバリスタ実技と接客英語などに特化した英語を学びます。他、スポーツやボランティアと英語を組み合わせたコースも。

アカデミック英語

大学付属語学学校で海外の大学進学に必要な語学力を培います。論文執筆やプレゼン能力も強化します。

【留学例】Niagara College(カナダ) English for Academic Preparationコース(8週間～)

1967年創立の公立校。8週間のセッションで構成され、各レベルを修了すると次に進めます。修了後はTOEFLやIELTSなど免除で本科プログラムへの進学も可。

実践活動

就職に合わせたボランティアやインターン活動を行います。

【留学例】Highline College(アメリカ)
Short Term Program(6か月～)

留学生向け短期プログラムで、GPAや事前履修科目などの一定の条件を満たせば、2学期目以降からインターンシップに参加可能。キャリアアドバイザーに相談し、インターンシップ先を探します。

文化体験

英語や専門分野を学びながら、体験交流活動を通して文化などに理解を深めます。

【留学例】APLC English Summer-Spring Camp
(マレーシア)(4週間)

本学協定校で学ぶ3週間集中型プログラム。世界各国の留学生との交流を通じて、異文化に触れる機会も多いです。名所を巡るプログラムも充実し、マレーシア文化を体験しながら英語を学べます。

オンライン留学

渡航が困難な学生にはオンラインで留学気分を味わえるプログラムもあります(受講は夜の時間帯)。

【留学例】テキサス州立大学付属オンライン英語コース

実践的な英語コミュニケーション力を向上でき、IELTS、TOEFL、TOEICなど試験対策としても活用可能。ライティング・スピーキングの技能も集中的に鍛えられます。協定校留学の準備としても効果的です。

知りたい!海外留学のこと

協定校

協定校等5カ国8校1機関

2026年7月現在、本学が協定を結んでいる大学及び機関はアメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、マレーシアに8校1機関あります。(マップ参照)



INTOエクセター大学(イングランド)
INTOイーストアングリア大学(イングランド)
INTOニューカッスル大学(イングランド)など
※INTOとは、留学生が大学に進学するための準備教育プログラムを提供する機関で、INTO提携校なら記載の3校以外でも留学可能です。



間違えることは恥ずかしい!
失敗を恐れずに挑戦する姿勢を
留学先の学生たちの姿から学びました
イギリス(短期留学)
Y.Iさん(スポーツ科学科4年)



NEW

国際教育機関EFと提携 短期留学先の幅が広がった

2026年度より語学学校を運営しているEF(エデュケーションファースト)と提携し、短期留学先の幅が広がりました。各国に語学学校を構えており、英語圏ではアメリカやカナダなど本学でも実績のある留学先に加え、シンガポールやニュージーランドなどがあり、行き先の幅が広がりました。



政治や国際情勢などを英語で学ぶのは苦学でしたが乗り越えました!
バドミントンでの交流でとても充実!
マレーシア(協定校留学)
R.Tさん(文学科英米文学専攻3年)



アジアパシフィック大学
(クアラルンプール)



金沢学院大学
金沢学院短期大学
(石川県金沢市)



クイーンズランド工科大学
(ブリスベン)

短大(現代教養学科)在学時に留学して交流からさまざまな価値観を学びました。自己成長と行動範囲の拡大も実感!



オーストラリア(短期留学)
M.Kさん(経済学科4年)

留学人数

留学した学生・留学予定の学生は

2023年度
8名

2024年度
9名

2025年度
9名

2026年度
7名
(予定者含む)

留学した学生は英語力だけではなく学びや成長を得て帰国しています。現地ではホームステイや寮生活を送り、学校生活や授業はもちろん、観光や日常生活から学んだことも多いようです。また、部活動やサークル活動の経験を生かしてスポーツ交流をする学生もいます。



ナイアガラカレッジ(オンタリオ州)



カピオラニコミュニティカレッジ(ハワイ州)
エル・カミーノ・カレッジ(カリフォルニア州)
カレッジ・オブ・ザ・デザート(カリフォルニア州)
ハイラインカレッジ(ワシントン州)
エドモンズカレッジ(ワシントン州)



とにかくイベントに積極的に参加!
交流を通して多くの友人ができて
実践的な英語力も身に付きました
アメリカ(協定校留学)
N.Mさん(文学科英米文学専攻4年)



本学独自の海外留学奨学金制度 短期留学は最大20万円 長期留学は最大50万円

海外留学奨学金制度を利用できます。短期留学奨学金制度では期間に応じて最大20万円、協定校留学奨学金制度では英語資格に応じて最大50万円を支給します。

留学奨学金	TOEIC	英検	TOEFLiBT	IELTS
30万円	600	2級	3	4.5
40万円	700	2級A	3.5	5.0
50万円	800	準1級	4	5.5

(2027年4月申込みより適用) ※2026年8月時点



留学レポート 短期留学

@オーストラリア(メルボルン)



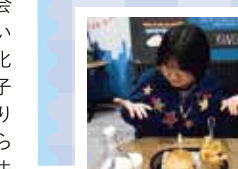
R.Tさん
文学科英米文学専攻3年
語学学校 BROWNS English Language School
Melbourne
期間 約1カ月
費用 総額:約80万円(奨学金:20万円)

「文法などの正確さは気にせず、不完全でも自分の意見を伝える姿勢を大切に」



Australia

学校では教員も学生も年齢・性別・国籍がさまざまで、英語以外の言語も多く飛び交っていて、お互いに文化や言語を教え合う機会に恵まれました。滞在先のアパートには、スイスや韓国の学生がいて、最初は緊張しましたが、食べ物や生活習慣など異文化への理解を深めることができました。スーパーマーケットには菓子パンや総菜などすぐ食べられる食品が少なく、野菜が量り売りだったり、乳製品は量が多かったりと、日本との違いが多く感じられました。この留学を通じて、自分が英語を話す際に正しい文法や単語を使う意識をしすぎて聞き手に回ってしまうという課題がみえたので、間違いを恐れず自分の意見を発信する姿勢を身に付けたいです。



Malaysia

留学レポート 協定校留学

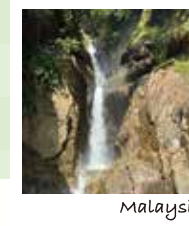
@マレーシア(クアラルンプール)



T.Tさん
教育学部 小学校・中学校教諭専攻3年

協定校 Asia Pacific University of Technology & Innovation(APU)
期間 約5カ月
費用 総額:約180万円

「怖くても、不安でも、挑戦してほしい。失敗を恐れず飛び込むことで、想像していなかった景色が見えてきます」



Malaysia

APUの近代的なキャンパスには世界中から学生が集まり、授業中には異なる文化背景を持つ学生同士が意見をぶつけ合うこともあり、毎日が新しい刺激にあふれていました。一方、寮の環境はいとは言えず気が滅入ることもありましたが、そこで出会った仲間たちと夜遅くまで課題をしたり、ご飯を作って分け合ったりすることで、言葉を超えた絆が生まれました。学生同士で「Try again!」とお互いの挑戦を応援し合う文化があり、自分も積極的に行動できるようになりました。英語が話せない状態での出発でしたが、身振り手振りで想いを伝える中で、相手を尊重する文化理解の心と失敗を恐れず挑戦する姿勢を学ぶことができた忘れられない体験となりました。

